

## APS-NZ 製品(フォーム体)に関する注意事項

1. 周辺で火気を取り扱うような行為は避けてください。
2. 水分に接するような使用は避けてください。
3. 直接日光や雨が長時間当たると早く劣化しますので、そのような状況下での使用は避けてください。
4. 白アリ等の昆虫及びネズミ等の動物の栄養源や餌にはなりません。しかし、それらによって損傷を受けることがありますのでご注意ください。
5. 使用可能温度は使用される細かな条件に左右されますので、常温以外での使用については、別途ご相談ください。
6. 工事現場で発生する端材は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき許可を受けた業者で適切な処分を行ってください。
7. 原料の安全衛生管理(取扱い注意事項、貯蔵上の注意事項)、吹付け施工における注意事項等については、SDS、技術資料、取扱説明書、施工要領書、施工マニュアルをご確認ください。
8. 本カタログに掲載の商品(原液、フォーム体)は、設計、施工に関する専門の知識、技術が必要であり、所定の教育を受けた技術者、技能者による設計、施工を原則としております。ご使用にあたっては、これら専門業者の方にご依頼願います。
9. 商品改良や法改正等の理由で、仕様やフォーム体の外観等は予告なく変更することがあります。ご使用の際には最新の情報を確認してください。

## 免責事項

- 本カタログに記載した注意事項が行われず発生した不具合
- 原料の安全衛生管理、吹付け施工における注意事項が行われず発生した不具合
- 建物・躯体の構造、下地の変形、老朽化や外部からの衝突等、弊社の製品以外の外的要因により発生した不具合
- 使用者もしくは第三者の故意または過失による不具合
- 引き渡し後、構造・性能・使用等の改変を行い、これに起因する不具合
- 不具合を発見後すみやかに届けがされなかった場合
- 地震・台風等の天災、火災等の特殊要因が原因により発生した不具合



旭有機材株式会社

樹脂事業部 発泡材料営業部

【東日本営業グループ】  
〒105-6120 東京都港区浜松町2丁目4番1号 世界貿易センタービル20階  
TEL:03-3578-6021 FAX:03-3578-6026

【西日本営業グループ】  
〒541-0048 大阪府大阪市中央区瓦町4丁目5番9号 井門瓦町ビル7階  
TEL:06-4707-0365 FAX:06-4707-0366



未来のために、  
いま選ぼう。



明日のために、ノンフロン。

■ お問い合わせは —

本書に記載されている情報は正確で信頼性のあるものと確信していますが、明示的または黙示的にかかわらず、いかなる保証または責任も伴いません。当社製品の使用方法に関する記述または提案は、その使用方法に特許権の侵害がなく、いかなる特許権の侵害も推すものではないことの表明または保証も伴うものではありません。ユーザは、安全性に関するすべての手段が本書内に示されている、または他の手段が必要ないと仮定するべきではありません。情報の使用および得られた結果に関する責任はユーザが負うものとします。

2016.04.0000

# APS-NZ

ウレタン現場発泡断熱ノンフロンシステム



自然にやさしい  
ノンフロン断熱材

旭有機材株式会社

# APS-NZは、マンションや工場などの建築物の断熱材として最適な、ノンフロン発泡で環境に配慮した現場発泡硬質ウレタンフォームです。

## APS-NZの特長

### ①CASBBE(建築物総合環境性能評価システム)、最高の「レベル5」に相当

温室効果の高いフロン系発泡ガスを一切使用していませんので、オゾン層を破壊せず、温室効果の小さい発泡剤(炭酸ガス)を使用した断熱材です。

### ②グリーン調達に適合

環境省の定めた「グリーン購入法基本方針の特定調達品目及びその判断基準」に適合します。

### ③シックハウス法告示対象外

平成14年国交省告示に規定するホルムアルデヒド発散建築材料に該当しません。ボード状断熱材等で表示されるホルムアルデヒド等級F☆☆☆☆と同等以上のレベルです。

### ④優れた断熱性能

住宅金融支援機構「フラット35」技術基準Dランクに相当する高い断熱性能、熱伝導率0.034W / m・Kを有します。

### ⑤高い難燃性

建築基準法に定める難燃材料試験をクリアしています。(難燃材料相当品)

### ⑥公共住宅建設工事共通仕様書、公共建築工事標準仕様書、JIS A 9526に適合

JIS A 9526(建築物断熱用吹付けウレタンフォーム)A種1に適合します。



施工風景1



施工風景2

#### ■ 評価書(公共建築協会)



公共建築協会評価書

#### ■ 報告書(建材試験センター)



難燃性能試験報告書

## APS-NZのフォーム物性

評価項目	物性値	規格値	備考(試験方法等)
原液粘度	mPa・s/20℃	80~1500	JIS A 9526準拠
	ポリオール 360 イソシアネート 160		
圧縮強さ(最小値)	kPa	80以上	JIS A 9526準拠
熱伝導率(最大値)	W/m・K	0.034以下	JIS A 9526準拠
接着強さ(最小値)	kPa	80以上	JIS A 9526準拠
透湿率(最大値)	ng/m・s・Pa	9.0以下	JIS A 9526準拠
燃焼性	燃焼時間	合格	JIS A 9526準拠
	燃焼長さ		
コア密度	kg/m <sup>3</sup>	—	—
揮発性有機化合物(VOC)	F☆☆☆☆	—	JIS A 1901準拠 シックハウス法告示対象外
発泡方法	水発泡(炭酸ガス発泡)		
気泡構造	連続気泡		
防火性能	難燃材料相当		
備考	※1 JIS規格に記載されるA種1の熱伝導率の設計値は0.034W/m・Kとなります。上記フォーム物性は、気温20℃の条件下でスレート板に下吹き(5mm以下)を行った後、一層当り20~30mmで2回吹きを行い約60mmの厚みで吹付けしたフォームより試料を採取し測定した値であり、保証値ではありません。		

## H25年仕様基準(断熱等性能等級4)における必要厚み

種類	部位	地域区分 <sup>*1</sup>				
		1,2	3	4,5,6,7	8	
RC造の住宅	屋根又は天井	125	95	85	55	
	壁	外気に接する部分	80	65	40	—
		その他の部分	110	90	75	—
	床	外気に接する部分	75	65	55	—
		その他の部分	60	50	30	—
	土間床等の外周部	その他の部分	20	15	10	—

部位	地域区分			
	1,2	3	4,5,6,7	8
断熱補強の範囲[mm]	900	600	450	—
断熱補強の必要厚さ(Dランク) [mm]	25	25	25	—

※1地域区分は下記の表のとおりです。地域区分は以下の市町村単位での区分となり、下記区分と異なる場合があります。

H25年基準における地域区分	主な該当都道府県
1,2	北海道
3	青森県、岩手県、秋田県
4	宮城県、山形県、福島県、栃木県、新潟県、長野県
5	茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、富山県、石川県、福井県、山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県
7	宮崎県、鹿児島県
8	沖縄県